



岡山大学記者クラブ

文部科学記者会

科学記者会

御中

令和 2 年 7 月 1 日

岡 山 大 学

## 抗がん剤不要で自然に治る “がん” EB ウイルス陽性粘膜皮膚潰瘍の病理学的特徴が明らかに

### ◆発表のポイント

- ・がんの一種である EB ウイルス陽性粘膜皮膚潰瘍（EBVMCU）は、病理検査で悪性リンパ腫（注 1）と区別ができませんが、悪性リンパ腫とは異なり、抗がん剤治療が不要で自然に治ることが特徴です。
- ・今回の研究では、世界で初めて、日本人における EBVMCU の病理学および遺伝子異常の特徴を明らかにしました。
- ・本研究結果によって、EBVMCU が広く医療人に認識され、さらに適切な診断と治療が行われるようになることが期待されます。

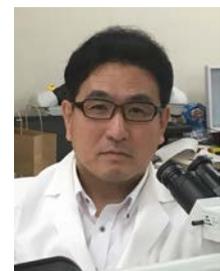
岡山大学大学院医歯薬学総合研究科（医）の池田知佳大学院生、岡山大学大学院保健学研究科（病理学）の佐藤康晴教授らの研究グループは、日本人における EB ウイルス陽性粘膜皮膚潰瘍（EBVMCU）の病理学および遺伝子異常の特徴を明らかにしました。本研究結果は 6 月 19 日、米国カナダ公式病理学会雑誌「*Modern Pathology*」に Original article として掲載されました。

EBVMCU は、関節リウマチで治療薬メトトレキサートを内服している患者さんの口の中に起こりやすく、難治性の潰瘍を作る病気です。潰瘍の見た目は“がん”のようで、さらに病理検査でも高悪性度の悪性リンパ腫との鑑別が困難です。しかし、この病気は悪性リンパ腫とは異なり、抗がん剤治療を必要としません。内服しているメトトレキサートを休止するだけで自然に治ります。病理学・遺伝学的には悪性リンパ腫との鑑別は困難で、診断には関節リウマチなどの自己免疫疾患に対するメトトレキサートなどの免疫抑制剤による治療歴などが、この病気の診断に最も重要な鍵となります。

本研究結果が広く医療人に知られることで、不必要な抗がん剤治療を避け、適切な診断と治療が行われることが期待されます。

### ◆研究者からのひとこと

この病気は、高齢化とともに患者数が増加傾向にあります。そのため、適切な診断を行い、不要な抗がん剤治療を避けるためにも、リウマチ診療に携わる医師、口腔領域の診療に携わる耳鼻科咽喉科医師や歯科医師、病理検査に従事する病理医や臨床検査技師にも広く知ってもらえることを期待します。



佐藤教授



## PRESS RELEASE

### ■発表内容

#### <現状>

EB ウイルス陽性粘膜皮膚潰瘍 (EBVMCU) は、EB ウイルスに感染した B リンパ球が異常に増殖する病態で、2017 年の WHO 分類で初めて記載された新しい疾患単位です。

そのほとんどが、関節リウマチで治療薬メトトレキサートを服用している患者さんの口腔内に難治性の潰瘍を形成し (図 1)、病理検査でも悪性リンパ腫と同じ像を呈します (図 2)。

そのため、この病気が認知されるまでは、悪性リンパ腫と診断されていた可能性があります。しかし、この病気の大きな特徴は、悪性リンパ腫とは異なり、メトトレキサートの内服を中止するだけで自然治癒する、すなわち見た目は“がん”であっても、抗がん剤治療を必要としないという大きな特徴を持っています。

近年日本では高齢化が進み、この患者数が増加していますが、その病理学的特徴は不明な点も多くありました。

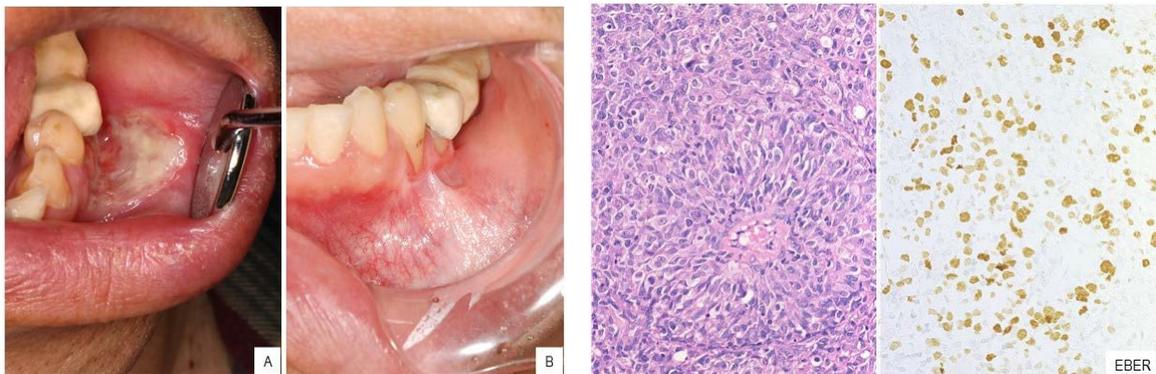


図 1 EBVMCU の口の中の写真

A: 難治性の潰瘍が認められます。

B: メトトレキサートの中止で  
潰瘍は自然治癒。

図 2 潰瘍部の病理検査の顕微鏡写真

左: 大型のリンパ腫細胞が増殖しています。

右: リンパ腫細胞の核には

EB ウイルス mRNA が陽性。

#### <研究成果の内容>

これまで EBVMCU の病理学特徴として、2 つのタイプの存在は知られていましたが、我々の解析において、さらに新しい 2 つのタイプが存在することを明らかにしました。また、EBVMCU の遺伝子異常も悪性リンパ腫と同じ頻度で起こっていました。したがって、病理検査のみでは悪性リンパ腫との鑑別が困難であることが明らかになりました。

#### <社会的な意義>

EBVMCU は、見た目は“がん”であってもメトトレキサートの休薬で自然に治る病気です。したがって、この病気の病理学的特徴が広く認知されることで、正しい診断と治療が行われることが期待されます。



## PRESS RELEASE

### ■論文情報

論文名：Clinicopathological analysis of 34 Japanese patients with EBV-positive mucocutaneous ulcer.

掲載紙：Modern Pathology

著者：Ikeda T, Gion Y, Sakamoto M, Tachibana T, Nishikori A, Nishimura MF, Yoshino T, Sato Y.

D O I：10.1038/s41379-020-0599-8

U R L：https://www.nature.com/articles/s41379-020-0599-8

### ■研究資金

独立行政法人日本学術振興会（JSPS）「科学研究費助成事業」（若手 B・19K16586，研究代表：祇園由佳） & （基盤 C・20K07407，研究代表：佐藤康晴）の支援を受けて実施しました。

### ■語句解説

注1：悪性リンパ腫

悪性リンパ腫は、白血球の一種である「リンパ球」のがんで、低悪性度から高悪性度までさまざまな種類があります。高悪性度のリンパ腫では、早期に抗がん剤による治療が必要で、場合によっては移植なども行われます。

#### <お問い合わせ>

岡山大学大学院保健学研究科（病理学）

教授 佐藤康晴

（電話番号）086-235-6884

（FAX）086-235-7156



岡山大学は持続可能な開発目標（SDGs）を支援しています。